

森田知事 自民党隠し、う回・違法献金

先の千葉県知事選で「完全無所属」を名乗って当選した森田健作知事が、自民党支部長をつとめ企業献金を受けていた問題。日本共産党千葉県委員会と県議団は9日、疑惑の全容を公表し、政治的・道義的責任を明らかにするよう知事に申し入れました。



森田知事の政治的・道義的責任を問う共産党県委・県議団

自民党支部を企業献金の受け皿に

申し入れでは、森田氏が現在も自民党東京都衆議院選挙区第二支部長でありながら、それを隠し県民にウソをついてきたことをきびしく批判。あわせて、同支部が受けた企業・団体献金を、同じ住所に設置された資金管理団体「森田健作政経懇話会」に流していた、「う回献金」の疑いもあることについて明らかにするよう求めました。

森田氏が支部長の自民党東京第2支部への企業・団体献金

2004年	5,475万円
2005年	6,789万円
2006年	2,069万円
2007年	1,852万円
合計	1億6,185万円

日本共産党

ちば民報

2009年4月号外 千葉民報社
千葉市中央区新千葉 3-16-15 043(241)4251
日本共産党千葉県委員会の政策を紹介します。

疑惑に答え責任を明らかに



「知らなかった」ではすまされない

また、外国人・外国法人の持ち株比率が50%を超える企業(ドン・キホーテ)から2005年、06年の2年間に計1千万円余の献金を受けたのは、当時の政治資金規正法に明確に違反しており「知らなかった」ではすまされないと指摘しました。



渦巻く「だまされた!」の怒り

森田氏は知事選で、「完全無所属」を売り物にしていました。県民から、「だまされた」の声が渦巻いているのも、当然です。

森田氏が県民をあざむいた責任は重大であり、政治的・道義的責任を明らかにすべきです。日本共産党は、22日に開会予定の臨時県議会で、他会派と連携して疑惑追及の百条委員会の設置をめざし、県民運動を起こします。

疑惑追及のための 委員会設置を